



令和2年6月25日発行 中等新報第60号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

6年生進路講話 ～目標目指してダッシュ～



6年生への激励 ～ 左から増井進路指導部長、斎藤教頭、吉井 ～

6月5日（金）、6学年で進路講話（進学に向けての決起集会？）を実施しました。はじめに、斎藤教頭から激励とアドバイスがありました。「学年全体で、受験を乗り切るムードを盛り上げることが肝心。受験は団体戦です。」受験の本質は孤独な闘いなのですが、周囲に自分と同じような不安や悩みを抱えながらも、目標を目指して決して諦めない仲間がいたら…。一人一人の頑張りや周囲にエネルギーを放射し、それらが大きなウエーブになって学年全体を包み込むのです。私からは、高2の時に劣等生になり、担任に見離された自身の経験を基に、「受験期、最後まで自分を支えたのは意地のようなもの。自分を取り戻すための闘いだった」と伝えました。

最後は、増井教諭の熱のこもったエールで幕を閉じました。6年生にエネルギーを注入しようと、精一杯の声を張り上げるその姿は、学級担任全員の想いを形にしているように感じられました。

当日最後のスライド資料

「ハードワーク」(エディー・ジョーンズ)より

みんなで合格目指して頑張るぞー！
先生方も支えるぞー！！
辛かったら泣きにきてもいいぞー！！！！
いくらでも質問にこいー！！！！
校長先生も教頭先生も気合い入ってるぞー！！！！！！

担任の先生方もがんばるぞー！！！！！！

最後にみんなでえいえい

これからいう言葉に対して、「オー」と言ってください。

人の中に眠っている力は、計り知れないものがあります。ほとんどの人がそれに気付いていません。自分の中に眠っている力を呼び覚ました人だけが、大きな成功を招き寄せることができるのだと思います。一般的に目標は、手の届きやすいところに置くのがいいとされています。しかし私は、そうは思いません。目標は、「そんなことができる訳がない」と思えるほど、大きなものを掲げるべきです。手の届きやすい目標は、すでにある自分の力から予想したものでしょう。それでは「眠った力」を呼び覚ますことはできません。今までに感じたことのない熱意を覚えたり、100%の努力を傾けたりすることはないでしょう。

エディー・ジョーンズ

